

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成24年度第1回大学職員情報化研究講習会運営委員会 議事内容

- I. 日 時：平成24年6月4日(月) 午後4時から午後6時まで
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷
III. 参加者：木村委員長、斉藤副委員長、廣野副委員長、志田委員、宮川委員、青山委員、
小野委員、毛利委員、東川委員、久保田委員、土肥委員、正木委員、中芝委員、
齋藤トバ伊^{ササキトバイ}
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本（記）

IV. 検討事項

1. 事業計画について

- ・ ガバナンス向けに5年先の大学教育の提案を31分野で検討している。教員の意識改革を促すものとして、教員の教育力もえがく予定もしている。従来路線を継承しない議論を先導していきたい。

2. 応用コースの企画について

- ・ 日程は2日に短縮。情報収集型など2日のできる研修内容も検討。
- ・ 趣旨は、「本コースは、大学（学士課程教育）が直面する諸課題を解決するためのICT活用戦略の構想やマネジメント、情報基盤の整備など実践的なテーマを中心に、事例研究や情報収集、研究討議を行います。」とした。
- ・ 期待される効果では、「ICTの特性やトレンドを把握し、これを応用して大学の諸課題を解決し、新たな価値を創出する実践的なアプローチについて理解を深める。」を新規に追加した。
- ・ 期間は2日で、1日目、12時から18時。2日目、9時から17時で、地域から可能な限り1泊2日で来れる時間設定とした。
- ・ 3つの群を設定して、そこに2～3の分科会を置く。
- ・ 分科会と共通テーマのつながり、基本線はどう考えたらよいか。参加者の理解がうすくなる可能性を危惧している。学生の主体的な学びを支援し、人材育成をするための学びをはぐくむためのICTの可能性と課題を講演のテーマで話をスタートしてもらう必要があるのではないか。分科会との関わりを基調講演にもたす必要があるのではないか。キーワードを示してわかりやすく話してもらうことではどうか。全体構成の図があっても良いのではないか。
- ・ 図書館に限定でなく、学生に何をしてあげられるか。膨大なデータから必要な情報を引き出すことはIRか。就業力の具体化は大学個別の取組になってくるのではないかと。情報公表は価値創造型ではないか。ICT活用はツールなので戦略に導くのは逆転しているのではないかと。
- ・ 共通テーマを分科会におとすポイントとして事例研究できないか。郡でまとめても分科会によっては事例が直接合わないことはないか。
- ・ つながるのイメージでは大学連携なども想定されるのではないかと。
- ・ ソーシャルネットは関心があると思われる。
- ・ 教員の意識改革では、教員にサポートの仕組みを持ってきてほしいと言われてしまう。
- ・ ラーニングコモンズをとりいれてはどうか。
- ・ 財務が入っているが、教育改革に焦点を当てたりに再考してはどうか、現状ではレベルが高いのではないかと。
- ・ 職員も自ら動く意識改革になるものしたい。
- ・ トレンドや分かりやすくイメージがつきやすいものにしてはどうか。
- ・ 事例は企業に出してもらってはどうか
- ・ 実践的な課題解決を趣旨として、共通テーマは生き抜いていける若者をつくっていく意味で、トレンドキーワードで参加者へ分かりやすいところになると考える。
- ・ 群は2つか3つとして、分科会の数も再考（部屋の構成も、小部屋か郡でまとめるか）
- ・ 日程は10月4日（木）5日（金）で実施を計画する。集める手立ての工夫が必要。
- ・ 7月1日に開催要項を発行したい。

3. 今後の対応

- ・ 7月上旬開催要項の発行に向け、企画を継続検討にし、委員会の日程はメールで調整することにした。
- ・ 委員会終了後に基礎講習コースの検討を実施し、開催要項を確定させた。